

交野ヶ原偉人伝① 都山流尺八流祖 中尾都山

なかおとざん

山口遼太

皆さんは尺八という楽器をご存知ですか？



主に竹で作られている管楽器(笛)の仲間です。和風な音楽などによく使われていて、お正月などにはその音色を聴く機会も多いかもしれませんね。名前の由来は、この楽器の長さが昔の単位で測ると一尺八寸(いっしやく)

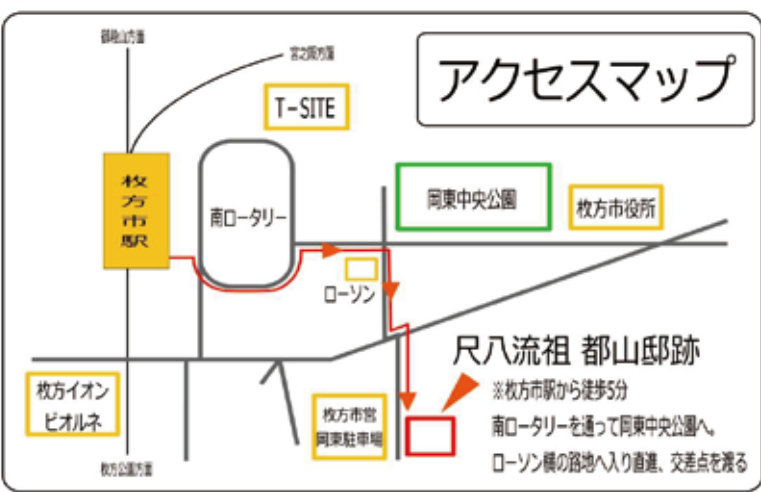
はっすん・約54cm)だったから、なのだとか。さてその尺八の歴史に、この交野ヶ原も大きくかかわっているのを知っていますか？実はこの尺八は明治時代まで一部のしか吹けなかったといえます。それまでは覚えたくても教えてくれる場所が無く、ごく限られた人しか触れることのできない楽器だったためです。

を認めたことで、日本中に都山流の道場ができることになったのです。そうして尺八は一般にも広く親しまれる楽器となりました。中尾都山が枚方市に建てた邸宅の跡が、今でも枚方市駅からほど近い枚方市岡東町に祀られ、その功績を今に伝えていきます。

枚方にお立ち寄りの際は、ぜひ都山邸跡を訪ねてみられてはいかがでしょうか。



▲流祖邸跡は都山流尺八楽会により管理されている。▲住宅街の一角にある流祖都山邸跡には全国の弟子たちから寄進された鳥居や狛犬、灯籠が立ち並ぶ。



青年部「Self-Portrait」No.1

「Self-Portrait」企画、記念すべき第一回は、全国のライブハウスで活躍中の「Self-Portrait」(以下「ライブ」)。

青年部 嶋田紫織

彼らは、枚方市・交野市出身のメンバーで構成されたまさに「交野ヶ原」を体現するかのようなロックバンド。メンバーが中学3年生(2003年)の時に結成され、「OSAKA光のルネサンス」、淡路島の「淡路花博」に出演した。また、枚方市のPR大使に選ばれている「アンダーグラフ」のフリーライブにも出演するなど、数々の経歴と実力を持つアーティストだ。

Self-Portraitとは「自画像」という意味で、等身大の自分達を音楽で表現したいという想いが込められている。この想いは、作り出す楽曲の歌詞の中にメッセージとして反映されており、前向きに人生を歩んでいこうとする多くの人々の胸に響いている。それは、バンド結成から15年、多くの山や谷を経験してきた彼らが紡ぎ出す歌詞だからこそ、人々の心に響くものがあるのではないだろうか。楽曲に強い想いを込めるセルポだが、ライブにかける想いも非常に熱い。2017年にリリースされた「ライブハウスで逢えたら」では、ライブハウスやそこに来る観客に向けてのメッセージが歌われており、セルポのライブ観が垣間見える深い楽曲に仕上がっている。また、観客との交流も大切にしているセルポは、ライブ中客席側にマイクを向け、観客と一体になって歌うことで会場を盛り上げている。



今や全国的に活躍している彼らだが、冒頭にも述べたように交野ヶ原のバンドである。地元を思い浮かべて作成したという「星降る街」は、まさに郷土やそこに住む人や友人への思いの詰まった曲で、この素晴らしい曲を天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトのイメージソングへと提供してくれた。

彼らは現在、新曲「君を想う夜」をひっそりさせた全国ツアーを行っており、1月24日(水)大阪・心斎橋にてツアーファイナルの予定だ。また、3月21日(水)には岡東中央公園で開催する交野ヶ原フェスタへの出演が決定している！セルポの熱い楽曲を近場で聞けるこの機会を逃すな!!

交野ヶ原を調べよう 子ども特派員が行く!

枚方中学校 渡邊寧々

はじめまして！私が今回行ったのは機物神社交野市倉治1丁目1-7 京阪交通倉治バス停下車です。この神社は七夕伝説で知られ、織姫さんが祀られているところなんです。

私が取材に行った日は偶然、秋祭りの日で櫓が建っていました。櫓の中は太鼓は埋め込まれているように置かれており、自由に叩いていいものでした。雨の中参拝者はいませんでした。私には楽しく妹と交野節を叩きました。

織姫さんが祀られているので、7月7日には盛大な七夕祭があります。写真でしか見ていませんが、沢山の笹に沢山の願い事が書かれた短冊が付けられて夏にはまた行ってみたい所になりました。

境内にはシンボルの木があり、それはクワ科のカジノキという名前です。これは、神聖な樹木のひとつで、古代より神木として神社の境内などに植えられ



代には七夕の時、カジの葉に墨で詩を書いて祭ったといわれています。また、平安時代の頃、惟高親王(これたかしのう)のお供として交野にきた在原業平(ありわらのなりひら)が七夕に託した里姫との一夜の契りを願った詩があります。

「狩りくらし七夕つめ(織姫に宿からんあまの河原に我はきにけり)」「狩りをして日を過ぎ、さあ今は織姫に宿でも借りようか。天の河原にきたからには」という意味でした。天の河原といえは、織姫というイメージだったのなら、ものすごく長い間の伝説が言い継がれてきたと知りました。私の知っている七夕は笹に願い事を書いた短冊をくぐるものですが、折角なので、笹の葉に俳句などを書いてくくりたいと思います。

た。境内には、歌が書かれた石碑もありました。是非、機物神社へ足をお運び下さい。